

計画の目標を達成するための市民協力について

将来にわたって公共交通の維持を図っていくには市民協力が不可欠であり、計画に定める目標を達成していくための市民協力を以下に紹介します。

■目標1 利用しやすく持続可能な市内ネットワークの最適化

目標値① 市内バス路線の輸送人員の回復を図ります

成果指標	単位	現状値	目標値
路線バスの年間輸送人員	万人/年	392	530
1便平均利用者数5人以上の路線数	路線	全46路線中 43路線で達成	すべての路線で 達成

市民協力 自動車等を利用している市民が**路線バス**を月に**1日以上**利用する。

目標値② タクシーの輸送人員の回復を図ります

成果指標	単位	現状値	目標値
タクシーの年間輸送人員	万人/年	(統計公表後 に記載)	190

市民協力 自動車等を利用している市民が**タクシー**を2ヶ月に**1日以上**利用する。

目標値③ 地域コミュニティ交通の持続性の向上を目指します

成果指標	単位	現状値	目標値
地域コミュニティ交通の 利用者1人当たり行政負担額	円/人	4,660	3,000

市民協力 沿線地区※の高齢者が**地域コミュニティ交通**（みんなのタクシー）を年に**3回以上**利用する。

■目標2 市民・来訪者が利用しやすい利用環境の充実

目標値① 利用者に見える形での交通結節機能の強化を目指します

成果指標	単位	現状値	目標値
列車との接続を確保したバスの便数の割合 (中心を担う別府駅)	万人/年	別府駅前 82.5% 別府駅西口 72.9%	現在の水準 を維持
交通結節点の機能を充実した箇所数	箇所	-	4

目標値② 主要な拠点の利用しやすい環境の充実を目指します

成果指標	単位	現状値	目標値
利用環境を充実した主要拠点数	箇所	-	12

■目標3 多様な移動ニーズに対応した幹線交通の持続・活性化

目標値① 鉄道駅・フェリーの輸送人員の回復を図ります

成果指標	単位	現状値	目標値
市内の主要鉄道駅の乗車人員	人/日	7,075	8,500
フェリーの年間輸送人員	万人/年	(統計公表後に記載)	38.5



市民協力 鉄道を利用していない市民が**鉄道を年に5日以上利用**する。

目標値② 幹線バスの輸送人員の回復を図ります

成果指標	単位	現状値	目標値
幹線バスの年間輸送実績	万人/年	65	95



市民協力 **幹線バス** (大分・湯布院方面) を**年に2日以上利用**する。

■目標4 多様な関係者との連携を通じた利用促進・情報提供の充実

目標値① 使う人の視点から情報を入手しやすい環境の充実を目指します

成果指標	単位	現状値	目標値
公共交通の情報提供を充実する取組	回/年	-	各年で定期的に実施

目標値② 公共交通利用率の向上・連携する関係者の拡大を目指します

成果指標	単位	現状値	目標値
市民の公共交通利用率	%	14.4	20.0
利用促進企画への協力団体・施設数	団体	-	10



市民協力 自家用車を置いて**公共交通で外出**する日を**週1日**つくる。

(自動車等を使っている市民の20人に1人が公共交通に利用する日をつくると目標達成)